

申1号「第31回定期大会発言に基づく申し入れ」第4項 「JR北海道における『現場力向上講演会』について」にかかる

確認メモ締結!!

申1号「第31回定期大会発言に基づく申し入れ」第4項「JR北海道
における『現場力向上講演会』について」にかかる確認メモ

申1号第4項にかかるJR北海道の「現場力向上講演会」の議論過程において、組合から提起のあった危惧を踏まえ、会社施策や労使関係のあり方について労使間での議論を行った。

- 1 JR北海道の「現場力向上講演会」は、あくまでもJR北海道が人材育成を中心とした現場力の向上を目的に計画したものであり、当社の派遣社員がその一部に関わったものの、結果的にJR北海道の判断により中止されている。従って、その一連の経緯について、JR東日本が会社として関与した事実は全くない。
- 2 会社施策は、会社の発展のため、安全安定輸送の確保、品質の高いサービスの提供、効率的な業務運営の実現など、業務上の観点から策定されるものであることは言うまでもない。
- 3 会社としては、これまで、会社施策を含む様々な課題について、労使共同宣言を踏まえ、信義誠実の原則に則り労使間の議論を通じて乗り越えてきた労使関係を、現時点はもとより、将来にわたっても変える意図はない。この点については、労使関係を運営する上での基本認識として労使双方で改めて確認する。

平成27年8月27日

東日本旅客鉄道株式会社
人事部担当部長 百瀬



東日本旅客鉄道労働組合
業務部長 申田弘史



第31回定期大会で会社経営の責任を問う怒りの発言が続出!

「基地統廃合の施策で、いかに組合を押さえつけたのか」

という内容で行われようとしていた!

JR北海道へJR東日本から派遣された一部幹部グループが企画した講演会が、

28年築き上げてきた労使関係は、
将来にわたっても変える意図はないことを確認!

JR東日本からの派遣社員の一部が関わったことは事実!
会社の施策は、組合を押さえつけることが目的ではない!!
「労使協力関係」は不変である!!

「労使双方」が全現場に再徹底することを確認!!

「確認メモ」をもとに、安全で働きがいのある施策実現の為にたたかおう!